

織姫☆彦星キャンパス通信かわら版 第5号

新しい年度がスタートしました

入園・入学・進級した皆さん、おめでとうございます。ワクワク、ドキドキ待ちに待った新しい生活が始まりました。新しい環境に少しずつ慣れ始めたころでしょうか。同時に、まだまだ新型コロナウイルス感染拡大の終息の見通しがつかない状況で、不安な気持ちで日々をお過ごしのことと思います。市では、保護者の皆さまの子育ての不安な気持ちや悩みを軽減し、楽しく自信をもって子育てができるように、家庭教育学級の開設や家庭教育学級通信を通して、子育てのヒントや家庭教育のあり方等をお届けしていきます。

親の学び

令和2年度家庭教育学級の学習会において、子育てアドバイザーの高田悦也先生をお迎えし、「子ども達が笑顔で過ごせるために、今、私たちにできること」をテーマに面白くそして温かく心に染みるお話を伺いました。

失敗をおそれる子育て

子どもの欠点や弱点についつい目が向いてしまいませんか。親は、子どもが失敗しないように先回りして声をかけたり代わりにやってあげたりしがちです。失敗を避けさせようとするのは、子どもの学ぶ権利を奪うということに等しい。子どもたちには失敗から学ぶ権利があります。失敗も上手にさせる子育ても大事なのです。

我が子も子どもであるということ

自分の子どもに対しては感情的になってしまうが、他人の子にはそうではないのはなぜか。それは、他人の子は「子ども」として客観的に見ることができるが、自分の子どもは我が子として見ているからです。

学校と家庭の役割

学校 教え育てる。学校は、子どもたちの明日のため、未来のために大人になって必要とされる知恵と力を育むところ。

家庭 養生・命を養う。家庭は、今日のため「今」面白いこと、やりたいことを見つけ、取り組む力を育むところ。

自信を持って子育て、自信のある生き方

親自身が失敗を恐れず、自分に自信を持つことが大事です。子どもの良いところを見つけ、褒めるのではなく認めることでやる気もアップします。家庭では、できた・できなかったことの結果よりも頑張った過程を認める場であってほしい。そして、子どもの気持ちに共感することが大切です。



高田 悦也先生(子育てアドバイザー)

<お問い合わせ>

小郡市役所

子ども育成課 医療・手当係

電話 0942-72-2111 (内線 673)

ファクス 0942-72-7481

Eメール syogai-katei@san.bbiq.jp